

家庭学習の充実に向けた取組を！

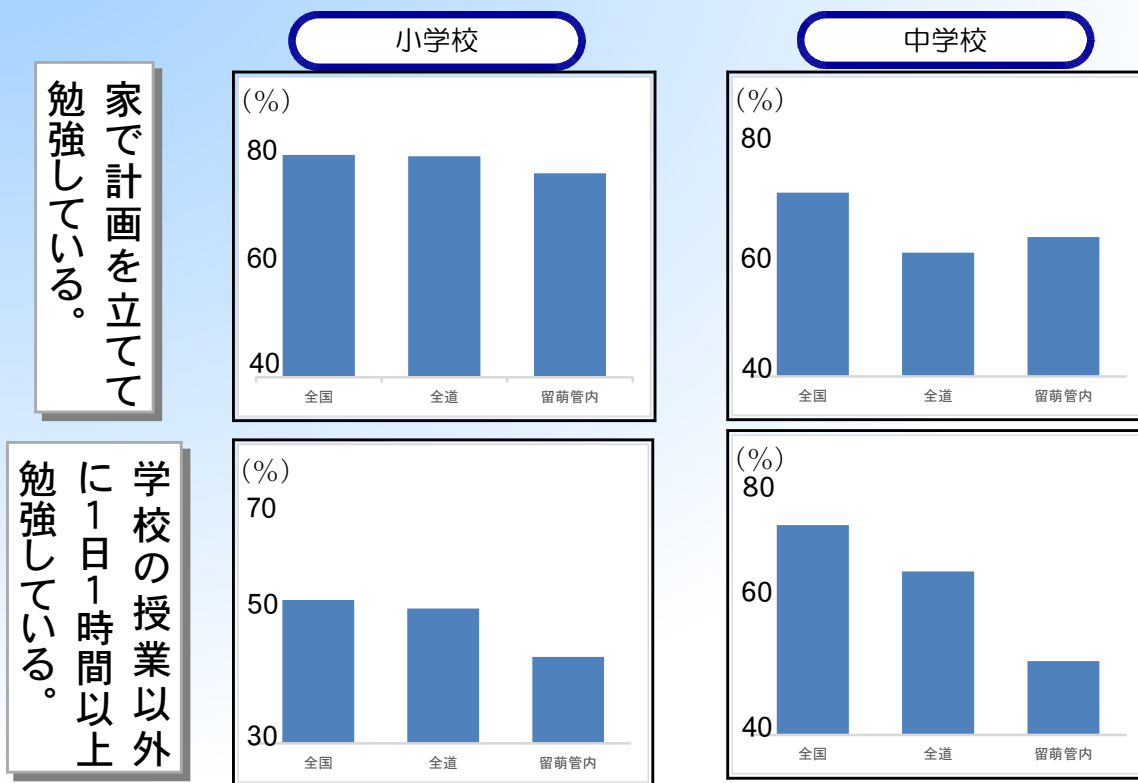
～平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙・学校質問紙の結果分析より～
これまでも各学校において、児童生徒に基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力等や主体的に学習に取り組む態度を育成するための授業改善及び家庭や地域と連携した望ましい学習習慣・生活習慣の定着に向けた取組を推進されてきたことと思います。

しかし、下記のグラフで示したとおり、留萌管内の児童生徒は、計画を立てて学習に取り組む習慣の確立や学校以外で勉強する時間については、全国と比べて低い傾向にあるなど、依然として、課題が残る結果となりました。

また、学校質問紙では、家庭学習の方法を具体的に指導したり、家庭学習の与え方について共通理解を図ったりしていると回答している学校の割合は、90%以上であることから、学校の取組が児童生徒の取組につながっていない実態があると考えられます。

そのため、各学校で進められている本調査の詳細な分析を踏まえて、児童生徒一人一人に応じたきめ細かな指導を行うことができるよう、市町村教育委員会、学校、家庭、地域で共通理解し、取組の推進に向けた連携をより一層図る必要があります。

家庭学習関連の結果（留萌管内）



児童生徒の望ましい学習習慣を育成する家庭との連携を！

- 児童生徒の発達の段階や実態を踏まえ、保護者の関わり方や学習時間の目安などについて、地域や保護者と共通理解を図りましょう。
- 予習－授業－復習のサイクルを確立し、児童生徒の学習の取組状況について、適切に指導助言を行いましょう。

※ 次号では、家庭学習の取組の好事例について掲載する予定です。